

私たちは日本チェーンストア協会です

「暮らしをもっと豊かにしたい」・・・わが国のチェーンストアは、そんな願いから昭和30年代に誕生いたしました。以来暮らしに一番身近なところで、より良い商品ができる限り低価格で安定的に供給して、お客さまのご支持をいただいております。

日本チェーンストア協会(略称:JCSA)は、こうしたチェーンストアの理念と事業活動を支援し、その健全な発展を図るために昭和42年(1967年)8月に発足し、以来常に暮らしの視点から活発に活動してまいりました。新たな世紀を迎えて、私たちはチェーンストアの一層の発展と生活者主権の確立をめざして、さらに魅力のある協会活動を積極的に進めてまいります。

チェーンストアが進める 3R

日本チェーンストア協会の会員各社ではより一層の省資源に向けてさまざまな取り組みを実施しています。お客様のご理解・ご協力をいただきながら今後も積極的に 3R を進めてまいります。

Reduce(リデュース)

- ・ばら売り、裸売りの推進...販売商品の容器をなるべく削減するために、ばら売り、裸売りを推進しています。特に野菜や果物については商品の安全性を考えながら無包装でのご提供を推進しています。
- ・トレイの削減・軽量化...安全に商品をお届けする上で欠かせないプラスチックトレイですが、利用方法の見直しを進めると同時に、素材の改善や軽量化を進め、資源の節約に努めています。
- ・レジ袋の削減...マイバッグやマイバスケットでのお買い物を積極的に呼びかけています。地域行政やお客様と協力関係を結びながらレジ袋の削減に積極的に取り組んでいるほか、一部地域ではレジ袋の無料配布中止も始まっています。レジ袋辞退率は皆様のおかげで17.6%(2008年10月現在、会員平均)を達成しています。目標の30%達成に向けて引き続き辞退率の向上に努めます。



Reuse(リユース)

- ・詰め替え商品の積極販売...食料品や住居関連品など容器の再利用の促進を目指し、詰め替え商品の積極的な販売を進めています。



Recycle(リサイクル)

- ・店頭回収の積極的な推進...ご家庭で使用済みの各種容器を店頭で積極的に回収しています。地元行政とも連携をとりながら地域の状況に応じて適切な回収・リサイクルを進めています。きちんとわけて正しくリサイクル、これからもご協力をお願いいたします。
- ・食べ物だってリサイクル...チェーンストアのお店からは野菜くずや魚のあらなど食品の残さが発生します。これらもごみとして処分するのではなくリサイクル。肥料や飼料にリサイクルし、育った食材を再びお店に。。。そんな実験も進んでいます。



お客様との接点であるチェーンストアができること・・・

地球温暖化対策や省資源など、地球環境の保全は社会全体の切実な課題です。国も企業も国民も、それぞれができることから確実に取り組むことが大切。日本チェーンストア協会会員各社はお店作りやその運営など自らの対策を積極的に進めることはもとより、環境にやさしいライフスタイルをお客様にご案内することも大切な役割だと考えます。お店で環境に関するお知らせを見かけたら、少しだけ地球環境について考えてみてください。

できることから皆様とともに。。。

日本チェーンストア協会からのお願いです。